

2006年3月期 中間決算概要



NIPPON PAPER
GROUP

2005年 11月9日

株式会社日本製紙グループ本社



I. 2006年3月期 中間連結決算 (2005年4月1日～2005年9月30日)

- (1) 概況
- (2) 業績
- (3) 経常利益増減益要因
- (4) 特別損益内訳
- (5) 貸借対照表
- (6) キャッシュ・フロー計算書

II. 2006年3月期 連結業績見通し (2005年4月1日～2006年3月31日)

- (1) 概況
- (2) 業績
- (3) 経常利益増減益要因
- (4) グループの主要指標

紙パ業界

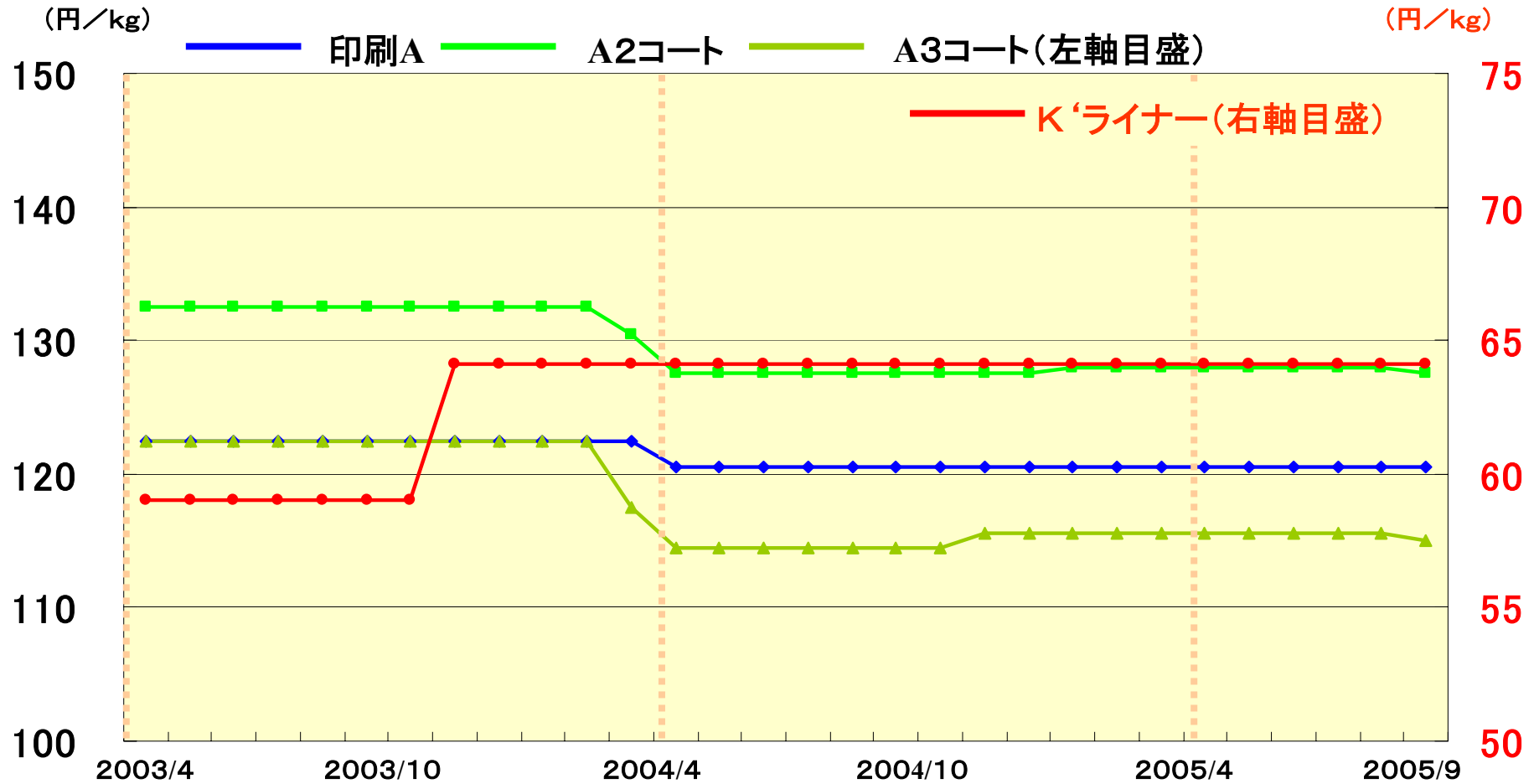
2005年4月－2005年9月品種別国内出荷高

	国内出荷高(千トン)	前年比
新聞巻取紙	1,741	1.9%
非塗工印刷用紙	1,285	▲2.9%
塗工印刷用紙 ※	3,116	1.6%
情報用紙	788	1.1%
その他の紙(包装・衛生・雑種紙等)	1,971	▲0.7%
紙計	8,901	0.4%
板紙計	5,937	0.0%
紙・板紙計	14,838	0.3%

※ 塗工印刷には微塗工紙を含む。 出所：日本製紙連合会

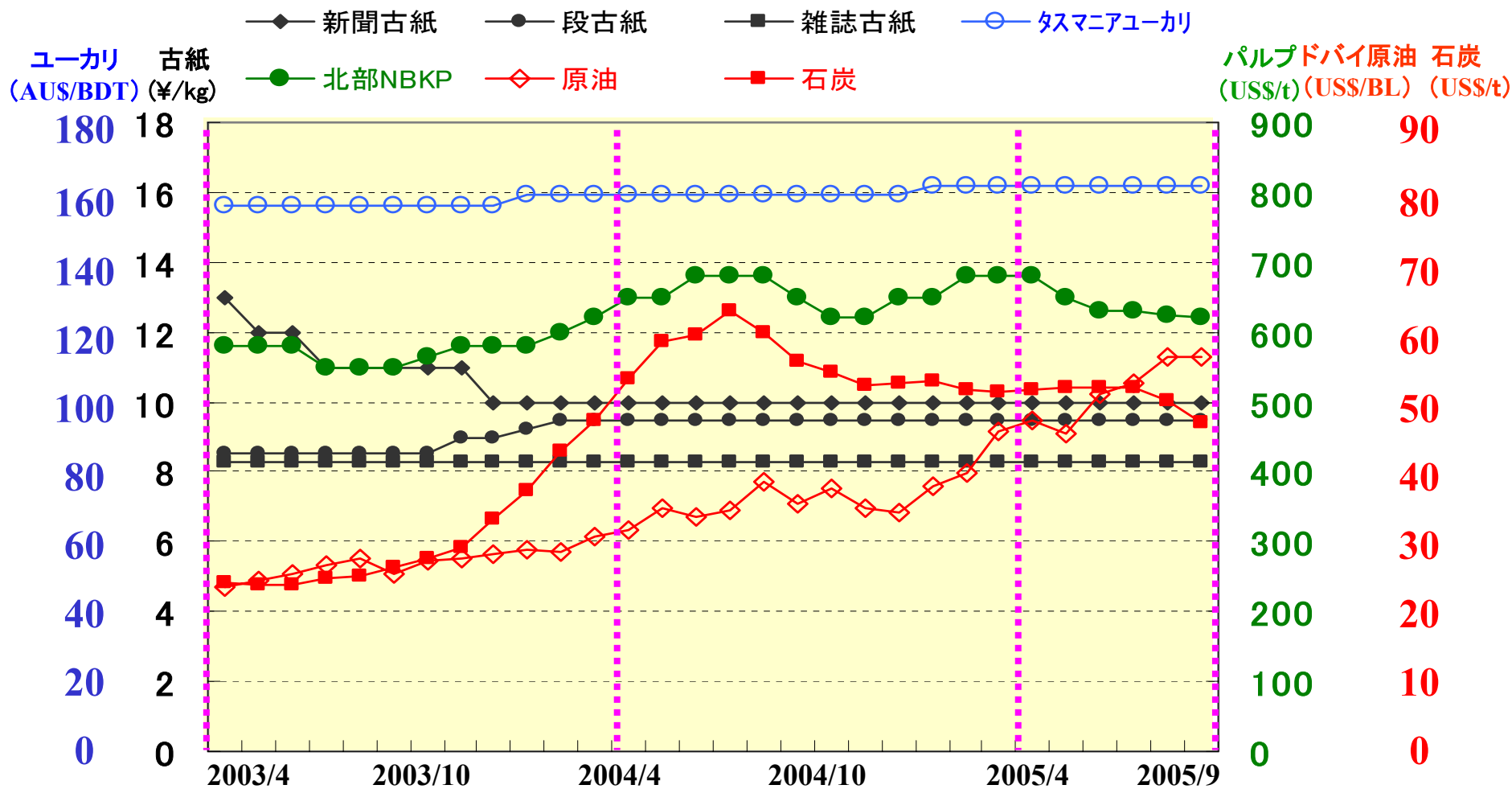
紙パ業界

洋紙・板紙の価格動向(2003年4月~2005年9月)



紙パ業界

主要原燃料の価格動向(2003年4月~2005年9月)



出所：古紙再生促進センター、Pulp&Paper Week、
原油=Platts、石炭=Barlow Jonker Index

2006年3月期中間期のトピックス

2005年 4月 : 日本製紙の鈴川工場と富士工場を統合

(新名称: 日本製紙富士工場)

5月 : 「グループビジョン2015」発表

6月 : 新経営体制発足

7月 : 日本製紙が欧州事務所を開設

: 自己株式の買受けを発表

(10月に買受け終了: 取得株式数3万株、総額123億円)

9月 : クレシア新経営体制発足

会社	事業所	主要設備投資	投資 (億円)	完工
日本製紙	岩沼	H-DIPライン増設	18	'05/ 4月
	釧路	新聞用紙高品質(中性紙)化対応	13	'05/ 7月

連結業績

(単位:億円)	2004/9	2005/9	差異
<売上高>	5,978	5,782	▲196
<営業利益>	344	306	▲38
<経常利益>	327	312	▲15
<中間純利益>	104	35	▲69

(千トン)	2004/9 (A)	2005/9 (B)	前年比 (B) ÷ (A)
(国内洋紙平均価格: 円/kg)※	(105.5)	(105.5)	(0.0%)
新聞用紙	675	673	▲0.4%
非塗工紙	380	374	▲1.5%
塗工紙	956	986	3.1%
情報用紙	325	357	9.9%
包装・雑種紙他	330	293	▲11.0%
国内洋紙計	2,665	2,682	0.7%
洋紙輸出(新聞用紙含む)	245	216	▲11.5%
洋紙合計	2,910	2,899	▲0.4%
(国内板紙平均価格: 円/kg)	(53.9)	(53.5)	(▲0.7%)
段ボール原紙	709	708	▲0.2%
紙器用板紙他	205	203	▲0.8%
国内板紙計	914	911	▲0.3%
板紙輸出	18	15	▲15.5%
板紙合計	932	926	▲0.6%
紙・板紙合計	3,842	3,825	▲0.4%

※国内洋紙平均価格には新聞用紙を含まない。

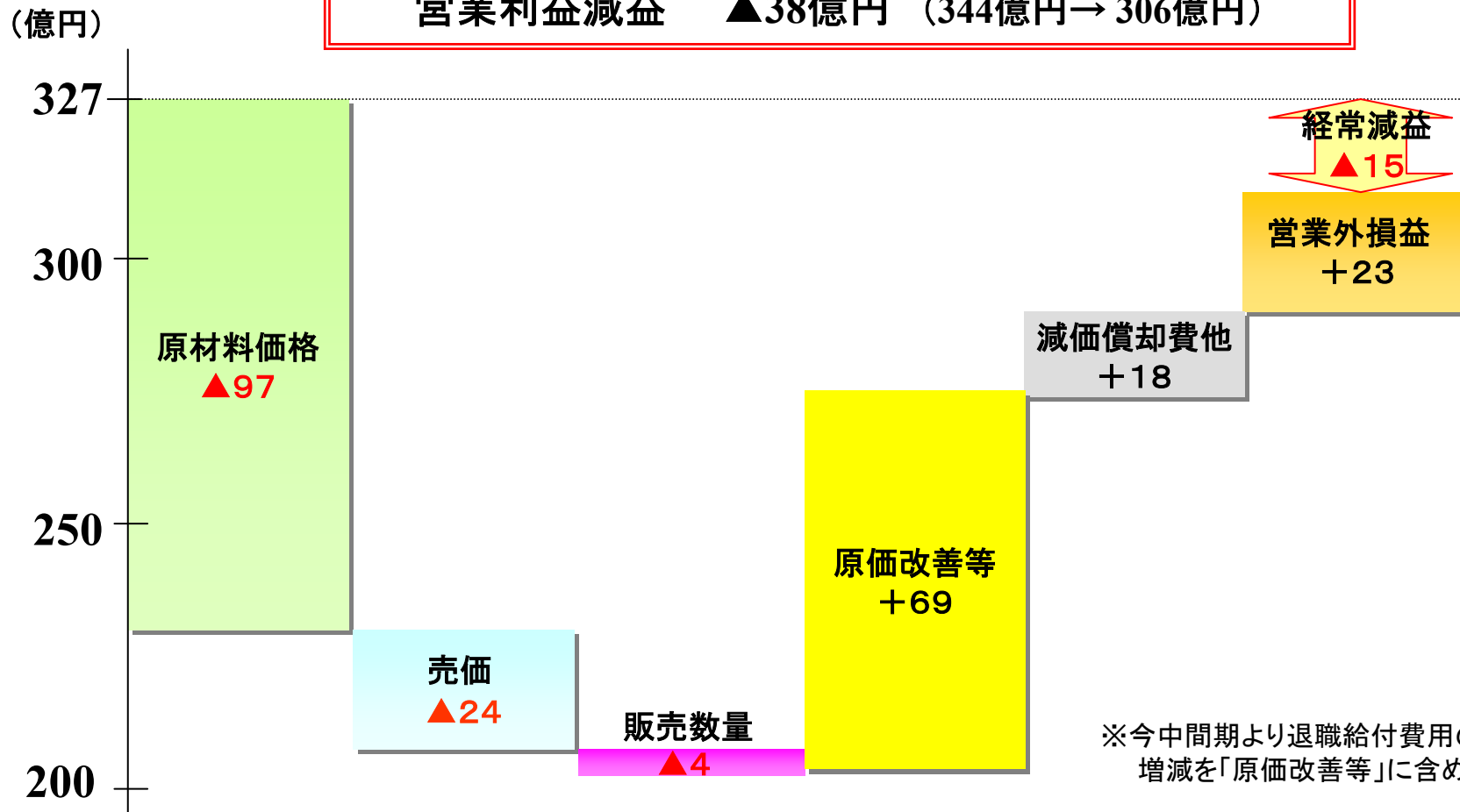
(単位:億円)

	売上高		営業利益		コメント
	2004/9 実績	2005/9 実績	2004/9 実績	2005/9 実績	
紙パルプ事業	4,408	4,246	244	223	
洋紙他	3,623	3,497	208	213	原油高の影響も、塗工紙を中心に販売が堅調、増益を確保
板紙	504	494	37	25	販売数量横ばいも燃料コスト上昇
家庭紙	281	254	▲ 1	▲ 15	引き続き厳しい競争下
紙関連事業 (紙容器、化成品等)	644	630	48	40	紙容器事業は昨年猛暑の反動
木材・建材・土木 関連事業	483	454	11	10	
その他の事業 (飲料、物流等)	441	452	40	34	
合計	5,978	5,782	344	306	

※電力供給事業を「その他の事業」に組み替えて表示

2004/9実績 対 2005/9実績比較

経常利益減益 ▲15億円 (327億円 → 312億円)
 営業利益減益 ▲38億円 (344億円 → 306億円)



	2004/9	2005/9	(単位：億円)
経常利益	327	312	
特別利益	126	17	
固定資産売却益	113	8	
投資有価証券売却益	2	5	
その他	11	4	
特別損失	212	195	
固定資産除却損	25	22	
減損損失	—	88	
貸倒引当金繰入額	44	1	
特別退職金	51	56	
事業再編損失	37	—	
投資有価証券売却損	33	—	
その他	21	28	
税金費用	▲126	▲93	
少数株主利益	▲11	▲6	
中間純利益	104	35	

(単位:億円)

貸借対照表	'05/3末	'05/9末	差異	コメント
現預金	183	154	▲ 30	
受取手形・売掛金	2,479	2,402	▲ 76	
棚卸資産	1,318	1,401	82	
その他流動資産	451	414	▲ 37	
有形・無形固定資産	8,856	8,655	▲ 201	設備投資304億、減価償却▲349億 減損会計適用▲88億 他
投資その他資産	2,012	2,059	47	
資産計	15,300	15,085	▲ 215	
有利子負債	7,661	7,436	▲ 225	
その他負債	2,973	3,051	78	
少数株主持分	236	228	▲ 8	
株主資本	4,429	4,369	▲ 59	配当金▲44億、中間純利益35億 自己株式買付けにより▲113億 他

(単位:億円)

項目	2004/9	2005/9	増減	コメント
営業活動によるCF	440	553	113	
税金等調整前中間純利益	241	134	① ▲ 107	① 減損損失の計上等により 税金等調整前中間純利益が減少
減価償却費・連調償却	376	359	▲ 17	
運転資金増減	▲ 111	30	141	
その他	▲ 67	29	97	
投資活動によるCF	▲ 92	▲ 193	▲ 101	
固定資産取得	▲ 276	② ▲ 248	28	② 設備投資を厳選し、支出を抑制
固定資産の売却	③ 144	35	▲ 110	③ 前中間期は旧都島工場跡地の 売却益を含む
その他	40	20	▲ 20	
フリーCF	348	360	12	
財務活動によるCF	▲ 418	▲ 392	26	
有利子負債増減	▲ 364	▲ 225	139	
支払配当金	▲ 44	▲ 44	▲ 0	
その他	▲ 10	④ ▲ 123	▲ 113	④ 自己株式の買付けによる支出他
連結範囲変更・為替換算差等	1	3	1	
現金及び現金同等物期首残高	216	182	▲ 34	
現金及び現金同等物期末残高	148	152	5	

2006年3月期 下期のトピックス

2005年 10月 : 日板パッケージ(株)とトーカンパッケージングシステム(株)
 (東罐興業(株)子会社)が合併、日本トーカンパッケージ(株)発足
 : クレシアが分社化(本社・工場の一部)、グループを再編成
 : 日本製紙が「バイオ苗」事業への参入を発表
 11月 : サンミック商事(株)とコミネ日昭(株)が合併基本合意
 (2006年4月1日合併予定)

来年度初頭 第2次中期経営計画発表予定

会社	事業所	主要設備投資	投資 (億円)	稼働開始 (計画)
日本製紙	岩沼	新聞用紙高品質(中性紙)化対応	15	'05/10月
	白老	3KP ECF化工事	15	'05/11月
	岩国	3KP、5KP ECF化工事	25	'06/1月

通期見通しの前提条件

● 国内販売

洋紙：需要が堅調な塗工紙を中心に販売増

（通期見通し：前年同期比＋1.5％）

板紙：価格維持を優先

（通期見通し：前年同期比＋0.9％）

● 主要原燃料価格・為替（下期見通し）

ドバイ原油価格：56 \$ / バレル（従来見通し51 \$ / バレル）

チップ：FOB価格は上期横ばい、海上運賃バンカーの上昇見込む

古紙：上期比横ばい

為替：米ドル 115円 / US \$（従来見通し110円 / US \$）

豪ドル 86円 / AU \$（従来見通し 84円 / US \$）

日本製紙グループ連結業績見通し

(単位:億円)	2006年3月期 従来見通し	2006年3月期 修正見通し	2005年3月期 実績
<売上高>	11,800	11,650	11,797
<営業利益>	650	530	652
<経常利益>	640	530	628
<当期純利益>	170	170	244

(千トン)	2005/3実績 (A)	2006/3見通し (B)	前年比 (B) ÷ (A)
(国内洋紙平均価格: 円/kg) ※	(105.8)	(105.3)	(▲0.5%)
新聞用紙	1,358	1,355	▲0.3%
非塗工紙	760	754	▲0.8%
塗工紙	1,922	2,007	4.4%
情報用紙	671	722	7.7%
包装・雑種紙他	632	586	▲7.4%
国内洋紙計	5,343	5,424	1.5%
洋紙輸出(新聞用紙含む)	477	464	▲2.7%
洋紙合計	5,820	5,888	1.2%
(国内板紙平均価格: 円/kg)	(53.9)	(53.5)	(▲0.6%)
段ボール原紙	1,398	1,412	1.0%
紙器用板紙他	409	411	0.4%
国内板紙計	1,807	1,822	0.9%
板紙輸出	34	30	▲12.9%
板紙合計	1,841	1,852	0.6%
紙・板紙合計	7,661	7,740	1.0%

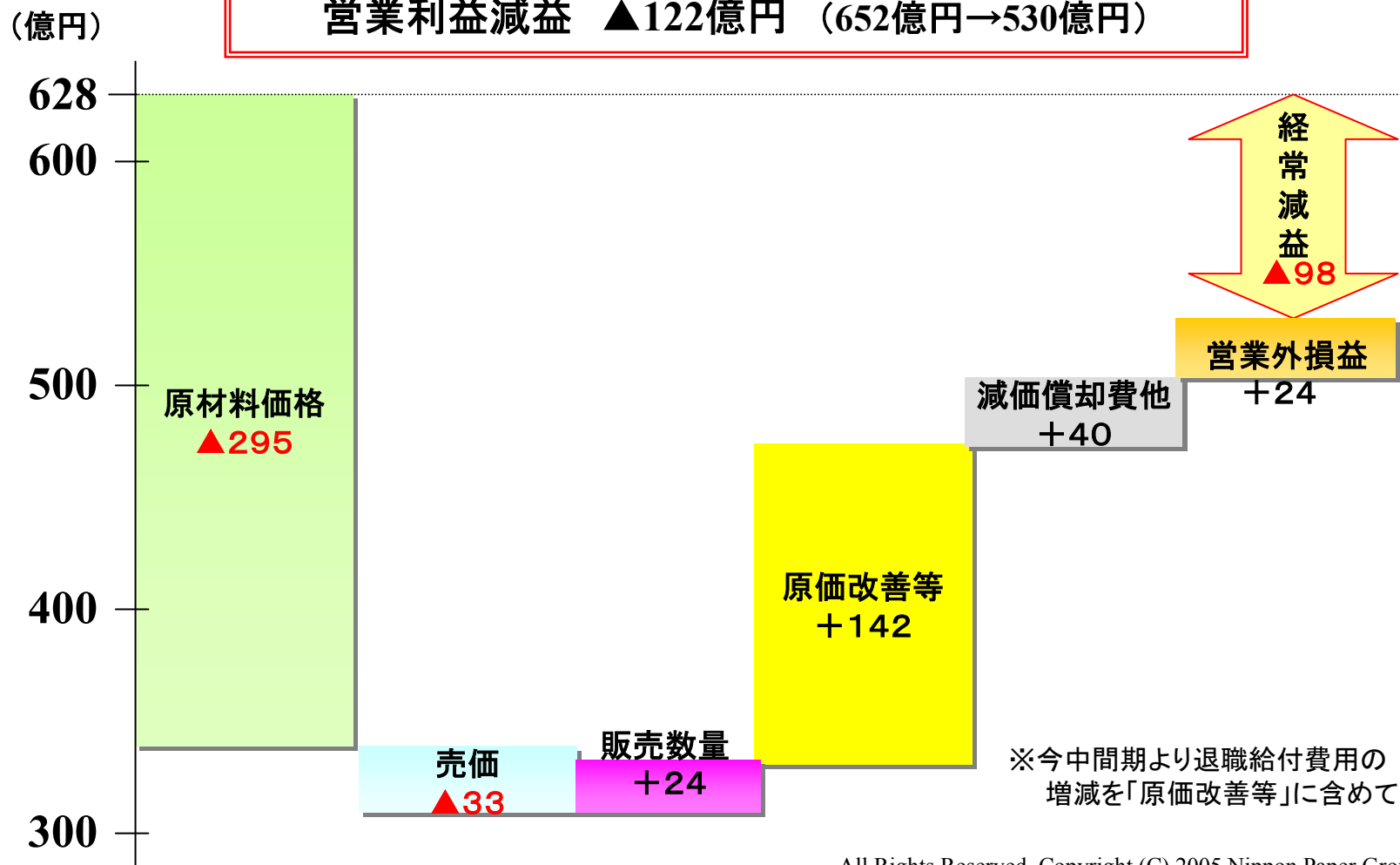
※国内洋紙平均価格には新聞用紙を含まない。

(単位: 億円)

	売上高		営業利益		コメント
	2005/3 実績	2006/3 見込み	2005/3 実績	2006/3 見込み	
紙パルプ事業	8,704	8,729	473	378	
洋紙他	7,147	7,124	422	363	コストダウン、販売数量増で原燃料コストアップを最大限カバー
板紙	994	1,036	70	45	コストダウン推進も燃料価格高騰、減益
家庭紙	563	570	▲ 19	▲ 30	収益基盤強化策の迅速な実施に取り組む
紙関連事業 (紙容器、化成品等)	1,266	1,132	83	64	段ボール事業が今下期より連結除外
木材・建材・土木 関連事業	952	934	23	23	
その他の事業 (飲料、物流等)	875	855	73	65	
合計	11,797	11,650	652	530	

2005/3実績 対 2006/3見通し比較

経常利益減益 ▲98億円 (628億円 → 530億円)
 営業利益減益 ▲122億円 (652億円 → 530億円)



	04/3月期 実績	05/3月期 実績	06/3月期 中間実績	06/3月期 見通し
ROE:株主資本当期純利益率	5.8%	5.6%	1.6%	3.8%
売上高経常利益率	4.2%	5.3%	5.4%	4.5%
D/Eレシオ:負債資本比率	1.9倍	1.7倍	1.7倍	1.5倍
洋紙稼働率(暦日数)	87%	91%	91%	92%
板紙稼働率(暦日数)	85%	87%	87%	87%
設備投資額(億円)	574	554	304	652
減価償却費(億円)	813	750	349	699
有利子負債残高(億円)	8,423	7,661	7,436	7,000
正規従業員数(人)	14,987	13,774	13,522	12,632

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
また当資料の無断掲載はこれを禁じます。

(株)日本製紙グループ本社